

令和4年度
事業報告書



4月初旬、久々の散策

社会福祉法人 徳成会
特別養護老人ホーム 悠樂園

令和4年度事業報告書目次

I、法人及び施設の沿革	1
II、概要	3
III、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の利用者の状況	
1、月別利用状況	5
2、男女別要介護度の状況	6
3、年齢別状況	6
4、市町村別利用の状況	7
5、入院、退院の状況	8
6、面会の状況	8
7、日課	9
8、主な月別年間実施行事、来園者、及び研修内容	10
9、給食の状況、栄養管理の状況	
1)衛生管理	13
2)食事内容について	13
3)個別対応食の状況	14
4)食事サービスの充実	15
5)栄養管理の状況	16
IV、居宅介護サービス、生活支援ハウス	
1、平成27年から令和4年3月までの在宅サービス利用状況	17
2、短期入所生活介護	
1)短期入所生活介護利用状況(市町村別)	18
2)短期入所生活介護月別利用者数(要介護度別)	18
3)短期入所生活介護月別利用延べ日数(要介護度別)	18

3、令和4年度空床型特養の利用状況	19
4、通所介護	
1)通所介護利用状況(市町村別)	20
2)通所介護月別利用者数(要介護度別)	20
3)通所介護月別利用延べ日数(要介護度別)	20
4)通所介護日課表	21
5)年間行事	21
5、居宅介護支援事業	22
6、食の自立(配食サービス)	23
7、生活支援ハウス	
1)利用状況	24
2)年間行事	24
3)建物、設備の保守、修理	24
4)委託料	24
V、令和4年度実施事業	25
VI、新型コロナウイルス感染に関して	26

I、法人及び施設の沿革

社会福祉法人 徳成会

特別養護老人ホーム 悠楽園
悠楽園 生活支援ハウス
居宅介護サービス事業

奈良県宇陀市榛原檜牧 5 8 4 番地

敷地面積 10,079.54 m²

建物延面積 2,762.57 m²

定員 5 0 名

定員 1 0 名

短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護 定員 6 名

通所介護、第 1 号通所介護 定員 2 0 名

居宅介護支援事業

配食サービス

平成元年 7 月 15 日

平成元年 7 月 18 日

平成 元年 6 月 24 日

平成 2 年 3 月 31 日

平成 2 年 5 月 1 日

平成 5 年 6 月

平成 8 年 4 月

平成 8 年 8 月

平成 9 年 3 月

平成 11 年 9 月

平成 11 年 10 月

平成 11 年 10 月

平成 11 年 10 月

平成 12 年 1 月

社会福祉法人 徳成会 設立許可（奈良県指令高福第 8 5 号）

社会福祉法人 徳成会 設立登記

特別養護老人ホーム 悠楽園 着工

特別養護老人ホーム 悠楽園 竣工

特別養護老人ホーム 悠楽園 事業開始

通所入浴サービス事業開始

給食サービス事業開始

地域交流ホーム 着工

地域交流ホーム 竣工

短期入所生活介護の定員を 4 名から 6 名に増員

居宅介護支援事業開始

通所入浴サービス事業廃止

通所介護（デイサービス・サテライト型）事業開始

訪問介護（ホームヘルプ）事業開始

平成 12 年 5 月	給食サービスの配達開始
平成 12 年 11 月	仮称悠楽園高齢者生活福祉センター着工
平成 13 年 8 月	仮称悠楽園高齢者生活福祉センター竣工
名称を「悠楽園デイサービスセンター、悠楽園訪問介護ステーション、及び、悠楽園生活支援ハウス」と決定	
平成 13 年 8 月	デイサービス・サテライト型廃止
平成 13 年 8 月	悠楽園デイサービスセンター（老人デイサービスセンター）事業開始
平成 13 年 10 月	悠楽園生活支援ハウス事業開始
平成 14 年 1 月	社会福祉法人 徳成会 評議員会設置
平成 14 年 4 月	デイサービス（通所介護）事業の定員を 10 名から 15 名に増員
平成 15 年 11 月	デイサービス（通所介護）事業の定員を 15 名から 20 名に増員
平成 18 年 4 月	介護予防事業（短期入所生活介護、通所介護、訪問介護、居宅介護支援） 開始（居宅介護支援は宇陀市地域包括支援センターより介護予防サービス 計画作成業務を委託される）
平成 20 年 5 月	訪問介護、及び介護予防訪問介護事業を廃止 デイサービス（通所介護、介護予防通所介護）事業の定員を 20 名から 25 名に増員
平成 20 年 12 月	デイサービス（通所介護、介護予防通所介護）事業の定員を 25 名から 30 名に増員
平成 24 年 4 月	デイサービス（通所介護、介護予防通所介護）事業の定員を 30 名から 20 名に減員
平成 24 年 7 月	理事長 森家 裕 退任 森家 誠 就任
平成 27 年 10 月	特別養護老人ホーム 悠楽園リニューアル工事設計開始
平成 28 年 6 月	特別養護老人ホーム 悠楽園リニューアル工事完成

Ⅱ、概要

令和2年当初から中国からの新型コロナウイルスによる感染症が蔓延した。しばらくすると収束するのではとの期待もむなしく感染の拡大と減少を繰り返しており、現時点でも未だに終息する気配はない。ウイルスもオミクロン株に変異し感染力が強くなり、ワクチンを接種したにもかかわらず感染する人が多発している。令和3年度には当施設関係者も複数人感染しており、在宅からの利用者との接触や学童からの家庭内感染が見られた。感染した人による濃厚接触の可能性により、用心の為デイサービスを1週間休んだ。令和4年度はデイサービスや特養でクラスターが3回発生した。特に令和4年末に発生した特養でのクラスターは終息するまでに1か月を要した。職員一丸となって対応したが、特養での本格的なクラスターは初めてであり、年末年始にかかった事もあり試行錯誤を繰り返した。保健所をはじめ、宇陀市や奈良県からも指導や備品の補助、PCR検査等の協力を頂いた。職員も大変であったが、隔離された利用者にも心身ともに苦勞を掛けた。利用者の体力低下も顕著であった。

衛生管理には最大限努力した。定期的にトイレやテーブル、手すり等の消毒を行い、施設内に入る人は体温の測定、手洗い、うがい等感染対策を徹底している。職員には休日であっても外出時はマスクを着用し、三密になる様な店舗や満員電車等を利用しない様に指導している。朝晩体温を測定し、37.5℃以上であれば医療機関を受診。医師の指示によりPCR検査をする。陰性であっても熱が下がってから2日間自宅待機。職員のご家族が発熱した場合、PCR検査で陰性とわかるまで自宅待機とした。クラスターが発生する前まではこれで十分だと思っていたが、今から思えば、食堂が密であった。換気も十分に考慮していたが、もっとソーシャルディスタンスが必要であったと考える。来年度からは新型コロナウイルスは2類から5類に分類される。面会もご利用者やご家族の気持ちを考えるとあまりにも長期間にわたる自粛は人道的に問題があると思われるので、密にならない様に予約制であるが、ガラス越しに顔を見ながらスピーカーでお話しする方式から、マスクを着けて直接お会いできる方式に変更する事も考えている。

ご利用者の健康状態は、新型コロナウイルス感染症の対策で衛生管理を徹底した為か、冬場のノロウイルスやインフルエンザの感染は皆無であった。

職員の状況としては、平成30年度は認定特定行為業務従事者認定（省令別表第二号）研修（口腔内、鼻腔内、胃ろう腸ろう）の受講が無事終了し、以前に県知事認定の喀痰吸引のみ認められていた有資格者も含め、大多数の介護職員が認定された。しかしながら5年経った現在、新たに入職した介護職4名がこの研修を受講している。又、一部の介護福祉士未取得者の受験に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症の影響で講習も受けにくくなっているが、今後時

令和4年度事業報告書

間が許す限り出来る範囲内で、OJT（職場内トレーニング）を含め、機会がある毎に資質向上に努め、介護の質を高め、ご利用者やご家族の要望に応えられる様に努力したい。

令和元年12月に宇陀市のwebサイトに特別養護老人ホーム悠楽園で虐待の可能性がある旨の匿名の通報があった。宇陀市による調査の結果虐待に該当すると判断され、県と宇陀市による実地指導が行われた結果、改善計画を作成する事となった。安全ベルトの使用や身体を搔く人へのミトン使用、専門医への受診が遅い等が指摘された。事故を起したくないとの現場の思いが優先し、又、ご利用者への声掛けが子ども扱いの様な職員も居り、心理的にも虐待であると感じていた職員も居た。お互いに注意しあえる雰囲気や環境でなかった事が反省される。職員研修や施設内での3か月ごとの委員会の開催に加え、対象事例の検討を随時行った。しかしながら、身体拘束廃止に取り組んでいるさなか、令和2年に入り看護職と介護職による送りミスにより向精神薬の誤与薬があった。痛恨の極みであったが、宇陀市の見解は「身体拘束」であると認定された。令和2年度は、精一杯身体拘束廃止に取り組んだが不本意な結果となった。令和3年度も職員間の連絡ミス防止や身体拘束適正化、事故防止、安全対策、人権擁護、虐待防止、感染症、食中毒防止、災害対策、事業継続計画、ハラスメント防止研修の計画を立て、機会の在る毎に研修と課題を出しての訓練に取り組んでいる。積年の驕りを取り除き、介護の基本に立ち返って一步一步確実に改善策に取り組みたい。令和4年度の4月から5月にかけてモニタリングとして県と宇陀市による38名の介護職員に対する面接が行われた。業務改善のためのチェックシートや委員会や研修の議事録の回覧等を導入した。

8月の指導監査により、夜勤職員配置加算の基準を満たしていない事が判明した。月平均夜勤者3名の所2.7人であった。この事により夜勤職員配置加算及び介護職員処遇改善支援補助金をご利用者及び奈良県と各市町村に約650万円返還した。

令和4年度決算は昨年度に比べればやや改善されたが、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生による稼働率低下が大きく影響したと考えられ、減価償却を除いても約千万円の赤字となった。今は目先の新型コロナウイルス感染症対策の事で手一杯であるが、もう一度基本に帰り、ご利用者やご家族との視野の広い長続きする信頼関係を築いていく事を法人の目的としたい。

Ⅲ、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の利用者の状況

1、月別利用状況

(単位:人・%)

月	入園者数	退園者数		月初日現在 在園者数	延べ 利用日数	利用率	介 護 度						介護度 平 均
		死亡	その他の理由				要支援	1	2	3	4	5	
3				48									
4	2	0	0	49	1,451	96.7	0	0	0	14	20	15	4.02
5	1	1	0	50	1,519	98.0	0	0	0	15	20	15	4.00
6	0	0	0	49	1,470	98.0	0	0	0	15	19	15	4.00
7	1	0	0	50	1,550	100.0	0	0	0	16	19	15	3.98
8	1	1	0	50	1,483	95.7	0	0	0	16	19	15	3.98
9	1	0	0	49	1,440	96.0	0	0	0	17	20	12	3.90
10	1	0	1	49	1,465	94.5	0	0	0	17	20	12	3.90
11	2	2	0	49	1,411	94.1	0	0	0	17	20	13	3.92
12	1	2	0	48	1,436	92.6	0	0	0	18	17	13	3.90
1	3	1	0	48	1,363	87.9	0	0	0	18	17	13	3.90
2	0	2	0	47	1,206	86.1	0	0	0	21	16	10	3.77
3	4	1	0	47	1,443	93.1	0	0	0	22	15	13	3.82
年間	17	10	1		17,237	94.4							3.92

令和4年度事業報告書

2、男女別要介護度の状況

(単位:人・度)

	男	女	合 計
要介護度1	0	0	0
要介護度2	0	0	0
要介護度3	1	20	21
要介護度4	2	13	15
要介護度5	1	11	12
平均介護度	4.00	3.80	3.81

(令和5年3月31日現在)

3、年齢別状況

(単位:人・%)

	65歳未満	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上 85歳未満	85歳以上 90歳未満	90歳以上 95歳未満	95歳以上	合計	平均年齢
男	1	0	1	0	0	1	0	1	4	84.0
女	0	0	4	0	5	11	16	8	44	88.7
計	1	0	5	0	5	12	16	9	48	88.3
構成比	2.1	0.0	10.4	0.0	10.4	25.0	33.3	18.8	100.0	

(令和5年3月31日現在)

4、市町村別利用の状況

(令和5年3月31日現在)

(単位:人・%)

	前 住 所 地	男	女	計	構成比
県 内	榛原	1	30	31	64.5
	菟田野	0	2	2	4.2
	大宇陀	1	2	3	6.2
	室生	1	0	1	2.1
	宇陀市 合計	3	34	37	77.0
	曾爾村	0	4	4	8.3
	御杖村	0	1	1	2.1
	奈良市	0	2	2	4.2
	桜井市	1	1	2	4.2
	橿原市	0	1	1	2.1
	小 計	4	43	47	97.9

(単位:人・%)

	前 住 所 地	男	女	計	構成比
県 外	愛知県名古屋市	0	1	1	2.1
	小 計	0	1	1	2.1

5、入院、退院の状況

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	男	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
	女	1	0	0	0	1	0	0	1	1	3	1	2	10
	計	1	0	0	0	2	0	0	1	2	4	1	2	13
退院	男	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	3
	女	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2	1	2	8
	計	0	1	0	0	0	1	1	0	2	2	2	2	11

6、面会の状況

令和4年度個人別面会回数(短期入所生活介護を含む)

(単位:回・人)

回数	0	1	2～5	6～10	11～15	16～20	21～30	31～40	41～
人数	36	12	17	12	6	2	5	0	1

主な面会者と利用者との関係(短期入所生活介護を含む) (単位:回)

続柄	配偶者	子供	兄弟	親族	その他	総回数
回数	12	379	17	18	5	431

7、日課

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	
毎日				巡視 体調不良者検温・血圧測定 定時おむつ交換・トイレ案内			起床・更衣・離床介助	うがい・口腔ケア 着替え・洗面介助・朝食準備 お茶交換	義歯洗浄	朝食介助・与薬・下膳	朝礼・申し継ぎ・ラジオ体操	陰部洗浄・定時おむつ交換 臥床介助	水分補給 離床介助・トイレ案内	口腔体操 昼食準備	臥床介助 屋食介助・与薬・下膳	うがい・口腔ケア・義歯洗浄 定時オムツ交換・トイレ案内	※は午前中行事があった場合 ※陰部洗浄 定時オムツ交換・トイレ案内	水分補給 おやつ	洗濯物集配 お茶交換	夜勤者との申し継ぎ、夕食準備 夕食介助、与薬	下膳・うがい・口腔ケア 着替え・義歯洗浄・臥床介助	定時おむつ交換・トイレ案内 体調不良者検温・血圧測定	水分補給、与薬	巡視、消灯	定時おむつ交換・トイレ案内、 水分補給	体調不良者検温・血圧測定 巡視
平日（日曜含む）											清掃・トイレ掃除 洗濯物集配・処理	リハビリ ベッドメイキング リネン整理・行事			義歯洗浄 行事											
シーツ交換日											清掃・トイレ掃除 洗濯物集配・処理	リハビリ ベッドメイキング シーツ交換			清掃 行事											
入浴日											清掃 洗濯物集配・処理	リハビリ 一般浴・リフト浴 ベッドメイキング			機械浴											

注：おむつ交換・トイレ案内と清拭は定時以外に必要に応じ随時

8、主な月別年間実施行事、来園者、及び研修内容

	総務、法人関係	行事	慰問、ボランティア、研修、見学実習	職員研修、会議
4月	歯科Dr来園(毎月) 本館清掃(毎日、土日以外) ボイラー、エアコン修理 ワゴンR、シエンタ車検 県・市聞き取り調査 WAX1F デイ休止・特養面会中止 (コロナの為、15日～)	喫茶店(毎月) 誕生日会(毎月) 散髪(毎月)	毎月行事 新型コロナウイルス感染流行のため ボランティア中止	(毎月)給食会議 (随時)介護職会議、職員会議、新任研修会議、入所判定会議 (3月毎)身体拘束等適正化委員会会議、人権擁護・虐待防止委員会 会議、事故防止・安全対策委員会会議、褥瘡対策委員会 会議、感染症・食中毒対策委員会会議、災害対策委員会会議 (年1回以上)個人情報保護委員会会議 (年2回以上)各委員会の研修 個人情報・プライバシー保護研修、コンプライアンス研修
5月	毎月行事 エレベーター、ボイラー点検 シエンタ、アトレー修理 消防点検 浴槽水漏れ修理 職員健康診断 市聞き取り調査 WAX2F	毎月行事 開園記念 母の日	毎月行事 新型コロナウイルス感染流行のため ボランティア中止	毎月会議 運営委員会 災害対策委員会会議 身体拘束等適正化研修 感染症・食中毒防止研修
6月	毎月行事 消防機器点検 メイスイ浄化器交換 ダンボール回収 玄関前公衆電話撤去、 ピンク電話に変更 WAX1F	毎月行事 父の日	毎月行事 天理教仏教婦人会奉仕作業	毎月会議 運営委員会 事故防止・安全対策委員会会議 災害対策委員会会議 宇陀市立病院意見交換会 臨時運営委員会 自衛消防訓練・災害訓練
7月	毎月行事 参議院議員不在者投票 コロナワクチン接種、PCR検査 デイ休止、支援ハウス一部隔離 (コロナ罹患者確認の為、16～26日) 特養面会再開(23日～) 洗濯機修理 WAX2F 理事会	毎月行事 七夕まつり 冬布団引き取り 夏布団納入	毎月行事 新型コロナウイルス感染流行のため ボランティア中止	毎月会議、運営委員会 身体拘束等適正化委員会会議 人権擁護・虐待防止委員会会議 事故防止・安全対策委員会会議 褥瘡対策委員会会議 感染症・食中毒対策委員会会議 災害対策委員会会議 人権擁護・虐待防止研修 ハラスメント防止研修

	総務、法人関係	行事	慰問、ボランティア、研修、見学実習	職員研修、会議
8月	毎月行事 配膳車、洗濯機、ナースコール修理 WAX1F 監査指導	毎月行事	毎月行事 新型コロナウイルス感染流行のため ボランティア中止	毎月会議 運営委員会 感染症・食中毒対策委員会会議 褥瘡対策研修
9月	毎月行事 ボイラー点検 NTTアンテナ点検 WAX2F	毎月行事 花火大会 敬老会 米寿・百寿お祝い	毎月行事 新型コロナウイルス感染流行のため ボランティア中止	毎月会議、運営委員会 人権擁護・虐待防止委員会会議 事故防止・安全対策委員会会議 感染症・食中毒対策委員会会議 身体拘束等適正化研修 事故発生防止研修 褥瘡対策研修 口腔衛生管理の研修(水谷先生) 安全運転管理者講習
10月	毎月行事 ワゴンRオイル交換・修理 榎谷設計建築検査 食洗機、エアコン点検 エレベーターHD交換 コロナ唾液検査 WAX1F	毎月行事 夏布団引上げ 冬布団納入 バーベキュー大会	毎月行事 新型コロナウイルス感染流行のため ボランティア中止	毎月会議、運営委員会 身体拘束等適正化委員会会議 人権擁護・虐待防止委員会会議 事故防止・安全対策委員会会議 褥瘡対策委員会会議 感染症・食中毒対策委員会会議 災害対策委員会会議 コンプライアンス研修、個人情報・プライバシー保護研修 交通安全に係る教育
11月	毎月行事 エレベーター、自動ドア点検 シエンタ、食洗機点検 給湯器修理 インフルエンザ予防接種 WAX2F、ダンボール回収 理事会、深井戸ポンプ更新	毎月行事	毎月行事 新型コロナウイルス感染流行のため ボランティア中止	毎月会議 運営委員会 事故防止・安全対策委員会会議 自衛消防訓練・災害訓練
12月	毎月行事 消防機器点検 タイヤ交換 職員健康診断、コロナワクチン接種 汚泥引き上げ、WAX1F 特養規制(コロナ罹患者確認の為)	毎月行事 クリスマス会 餅つき大会 門松作成	毎月行事 円隆寺掃除ボランティア	毎月会議 運営委員会 商品検討会(原田フーズ、フードケア) 働き方改革説明会 宇陀ケアネットZOOM会議 コロナ対応の為、研修中止

	総務、法人関係	行事	慰問、ボランティア、研修、見学実習	職員研修、会議
1月	毎月行事 自動水栓交換 ボイラー点検 特養規制解除(22日～) エアコン修理(診療室) 関西電力ブレーカー撤去	毎月行事 お正月祝い膳 門松撤去	毎月行事 新型コロナウイルス感染再流行のため ボランティア中止	毎月会議、運営委員会 身体拘束等適正化委員会会議 人権擁護・虐待防止委員会会議 事故防止・安全対策委員会会議 褥瘡対策委員会会議 感染症・食中毒対策委員会会議 災害対策委員会会議 コロナ対応の為、研修中止
2月	毎月行事 エレベーター、自動ドア点検 浄化水槽点検 中央電力ブレーカー設置 宇陀市モニタリング コロナ唾液検査 WAX2F	毎月行事 節分	毎月行事 新型コロナウイルス感染再流行のため ボランティア中止	毎月会議 運営委員会 人権擁護・虐待防止研修 ハラスメント防止研修 感染症・食中毒防止研修
3月	毎月行事 厨房機器修理 食洗機点検 スぺーシア車検 タイヤ交換 WAX1F 理事会、評議員会	毎月行事 ひなまつり	毎月行事	毎月会議 運営委員会 ハラスメント防止研修 事故発生防止研修 褥瘡対策研修 喀痰吸引研修

他に毎月又は、随時実施するもの

◎ミニ喫茶

クラブ活動として

◎音楽クラブ（歌唱、カラオケ等）

戸外散策、習字クラブ、レクリエーションクラブ、貼り絵、ぬり絵等

水質検査 ー 大和环境センター

浄化槽点検 ー アクアソリューション（株）

エレベーター点検 ー 日立エレベーター（株）

ワックス掛け ー ビーワーク

9、給食の状況、栄養管理の状況

1. 衛生管理

12月に新型コロナウイルス感染が特養内で発生した。感染対策マニュアルに則り、感染者と非感染者の食器は分けて洗浄を行っていたが、感染人数が増えると厨房職員の負担が増大してきたため、使い捨て容器を使用し作業効率の向上を図った。デイサービスや生活支援ハウスには感染者が発生しなかったことから、食事・食器からの二次感染はなかったと考えられる。

今年度から異物混入に関する報告書の様式を作成し統計を取ったところ、1年間で8件の異物混入が発生した。出勤前の身だしなみチェック、盛り付け台の整理整頓を徹底して行うよう注意を促している。

2. 食事内容について

給食会議では、行事食、調理レクリエーションの充実を図った。また食事に関する意見交換の場として機能しており、食事形態や提供方法等問題点の検討・改善を行った。今後も利用者個人に合った食事が迅速に提供できるように他職種との連携に努めていきたい。

日々の残食記録と嗜好調査の結果を考慮し、意見の多かったものは委託会社と連携して献立作成に反映している。

食事形態は各利用者様の摂食機能に合わせられるように普通食・一口大食・刻み食・ソフト食・ミキサー食・ゼリー食の6種で対応している。

(特養)

形態	普通食	一口大食	刻み食	ソフト食	ミキサー食	ゼリー食	合計
人数	7名	13名	11名	4名	7名	3名	45名

※補助食品のみ提供2名、経腸栄養3名は除く。

(生活支援ハウス)

形態	普通食	一口大食	刻み食	ソフト食	ミキサー食	ゼリー食	合計
人数	6名	0名	0名	0名	0名	0名	6名

3. 個別対応食の状況

種類	内容	特養	支援	状況
		人数		
ソフト食	普通食を細かく刻みトロミ粉を使用しムース状で提供する。	4	0	食材をフードプロセッサーで粉碎し、材料の 1/2 量の出汁を加えトロミ粉を使用し飲み込みやすく加工する。咀嚼は問題なく行えるが嚥下機能が低下した方を対象として提供している。
ミキサー食	普通食をミキサーにかけトロミ粉を使用しペースト状で提供する。	6	0	食材と同量の出汁を加えミキサーにかけトロミ粉を使用し飲み込みやすく加工する。咀嚼・嚥下機能ともに低下した方を対象に提供している。
ゼリー食	普通食をミキサーにかけ80℃以上に加熱し、ゼリー粉で固めて提供する。	3	0	
アレルギー食	アレルギーになる食材の除去、代替食での提供。	2	2	現在対応中のアレルギーは海老、蟹、ナッツ類、鯖、カレー粉。
嗜好対応	嗜好や体調に合わせて代替品の提供	24	3	朝食のパン、飲み物は希望のものを提供している。本人様より希望があれば主・副食の形態変更も可能。
エネルギー制限食	体重過多の場合に減量対応で食事提供。	3	0	適正体重を目標に主食・副食量を調整している。
療養食	心臓病食	4	0	常食を基本としエネルギーや特定の栄養素の制限を行う。

	腎臓病食 糖尿病食			内訳：心臓病食（3名）、腎臓病食（1名）
--	--------------	--	--	----------------------

4. 食事サービスの充実

毎月1日に季節のおこわと天ぷらのお楽しみメニュー、年3回（正月・開園記念日・敬老の日）松花堂弁当の提供、季節の行事に合わせたメニューの提供・レクリエーションを実施した。

新型コロナウイルス感染予防のため面会や外出の制限があり、施設内での楽しみを増やしてもらうため調理レクリエーションを多く実施した。

新型コロナウイルス感染・食中毒予防のため、

- ①調理の際は、手指消毒とマスク着用。テーブル毎に作業を行う。
- ②自分で作ったものは自分で食べる。
- ③レクの内容は加熱の工程のあるもの、個包装の食べ物を選択。

上記3点に気を付けレクを行った。

	季節のメニュー	レクリエーション	
		特養	デイ
4月	じゃこの混ぜご飯	クレープ作り/桜餅作り	チョコブラウニー作り/フルーツポンチ作り
5月	開園記念日祝い膳	オムレット作り/牛乳わらび餅作り	ホットケーキ作り/焼きスイートポテト作り
6月		ホットサンド作り/白玉ぜんざい作り	クレープ作り/牛乳わらび餅作り
7月	七夕そうめん、鰻まぶし丼	パフェ作り	コロナウイルス感染者発生のため中止
8月	枝豆ご飯、夏野菜カレー、花火散らし、冷やし中華	夏祭り（お好み焼き、焼きウインナー）/アイスクリームバイキング	夏祭り（すいか割り、フランクフルト、ポテト、お好み焼き）
9月	敬老の日祝い膳	おはぎ作り/おやつバイキング	そうめんパーティ

10月	栗ご飯、ハロウィンコロッケ	バーベキュー	コロナウイルス感染者発生のため中止
11月	秋のきのこご飯	カップ麺パーティー/選べるおやつ	いももち作り/カレー作り（昼食）
12月	クリスマスメニュー、年越しそば	スイートポテト作り/もちつき	クレープ作り/餃子作り
1月	正月祝い膳、七草がゆ、握り寿司	コロナクラスター発生のため中止	もちつき
2月	かに散らし寿司、鰯の甘露煮	コロナクラスター発生のため中止	ホットケーキ作り/みたらし団子作り
3月	あさりの炊き込みご飯、ひな祭りちらし寿司	おやつのつかみ取り/花見（ウインナー、ハッシュドポテト）	チョコカップケーキ作り/お好み焼き作り

5. 栄養管理の状況

栄養マネジメント強化加算を継続して算定しており、低栄養状態のリスクが高い利用者に対しては、医師、管理栄養士、看護師などが共同して作成した栄養ケア計画に従って、食事の観察（ミールラウンド）、利用者ごとの栄養状態、嗜好などを踏まえた食事の調整などを実施している。

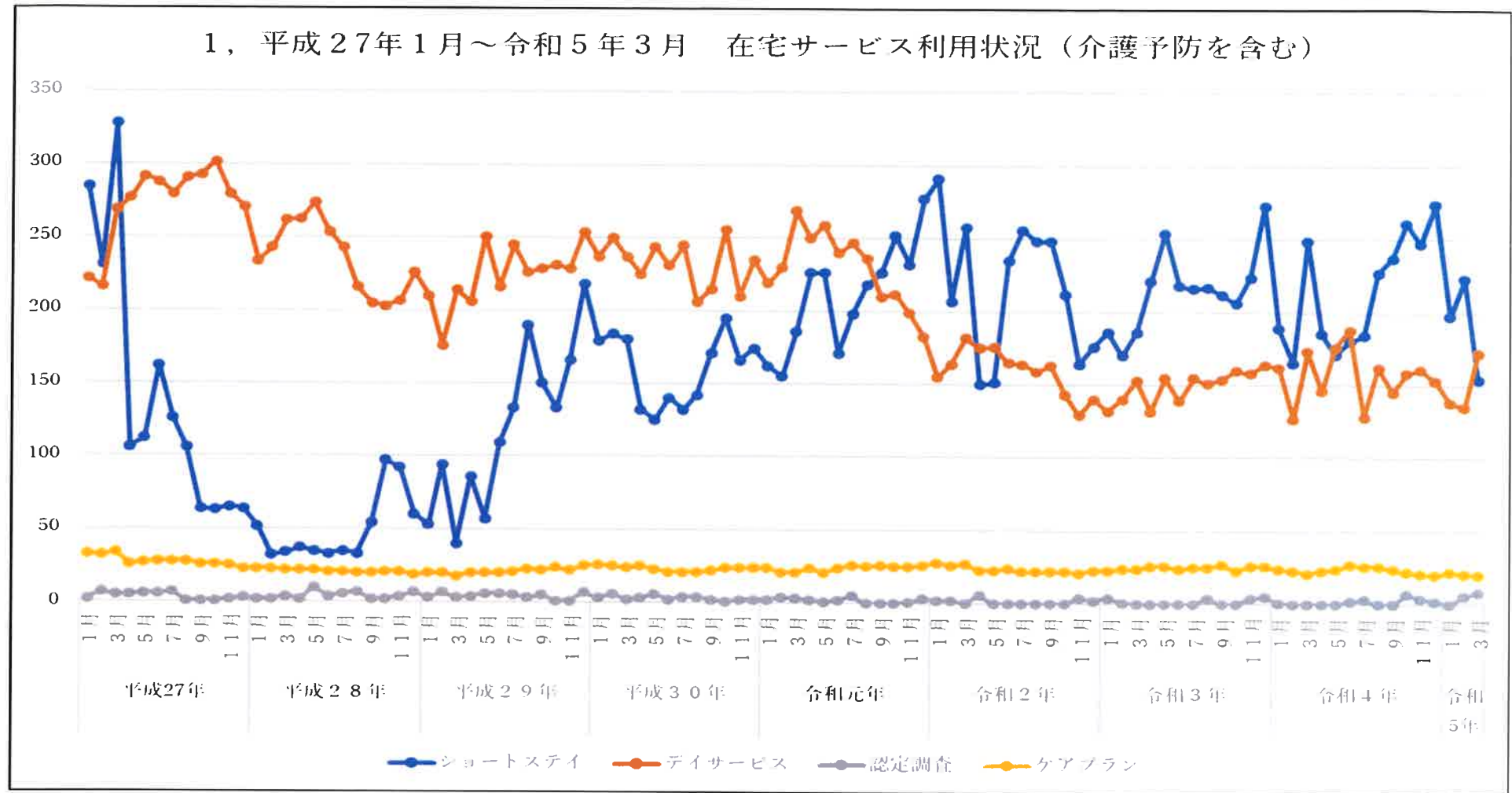
低栄養リスク判定	低リスク	中リスク	高リスク
令和4年3月末	16名（33%）	26名（54%）	6名（13%）
令和5年3月末	18名（36%）	23名（46%）	9名（18%）

昨年度と比較すると高リスクの利用者が増えている。リスク判定はBMI、体重減少率、血中アルブミン値、食事摂取量、褥瘡の有無から判断するが、高リスクの利用者は病状の悪化により食事摂取が困難になり体重減少や褥瘡が発生した方がほとんどである。食事が思うように取れない方の対応については本人やご家族の方の意思を尊重し、嗜好品の提供や食品の持ち込みを依頼する等できる限り個別対応を行い、精神的・身体的苦痛を軽減するよう無理のない食事提供を行っている。

低・中リスクの利用者に対しては毎月のモニタリングでこまかな観察を行い引き続き良い状態で過ごしていただけるよう努めていきたい。

IV、居宅介護サービス、生活支援ハウス

(単位：人)



令和4年度事業報告書

2、短期入所生活介護

1)短期入所生活介護利用状況(市町村別) (単位:人)

市町村	男	女	利用者数
榛原	3	14	17
室生	2	0	2
大宇陀	0	0	0
菟田野	0	1	1
宇陀市	5	15	20
御杖村	2	1	3
曾爾村	0	1	1
奈良市	0	0	0
橿原市	0	0	0
桜井市	0	0	0
吉野郡	0	0	0
県外	1	1	2
合 計	8	18	26

2)短期入所生活介護月別利用者数(要介護度別) (単位:人)

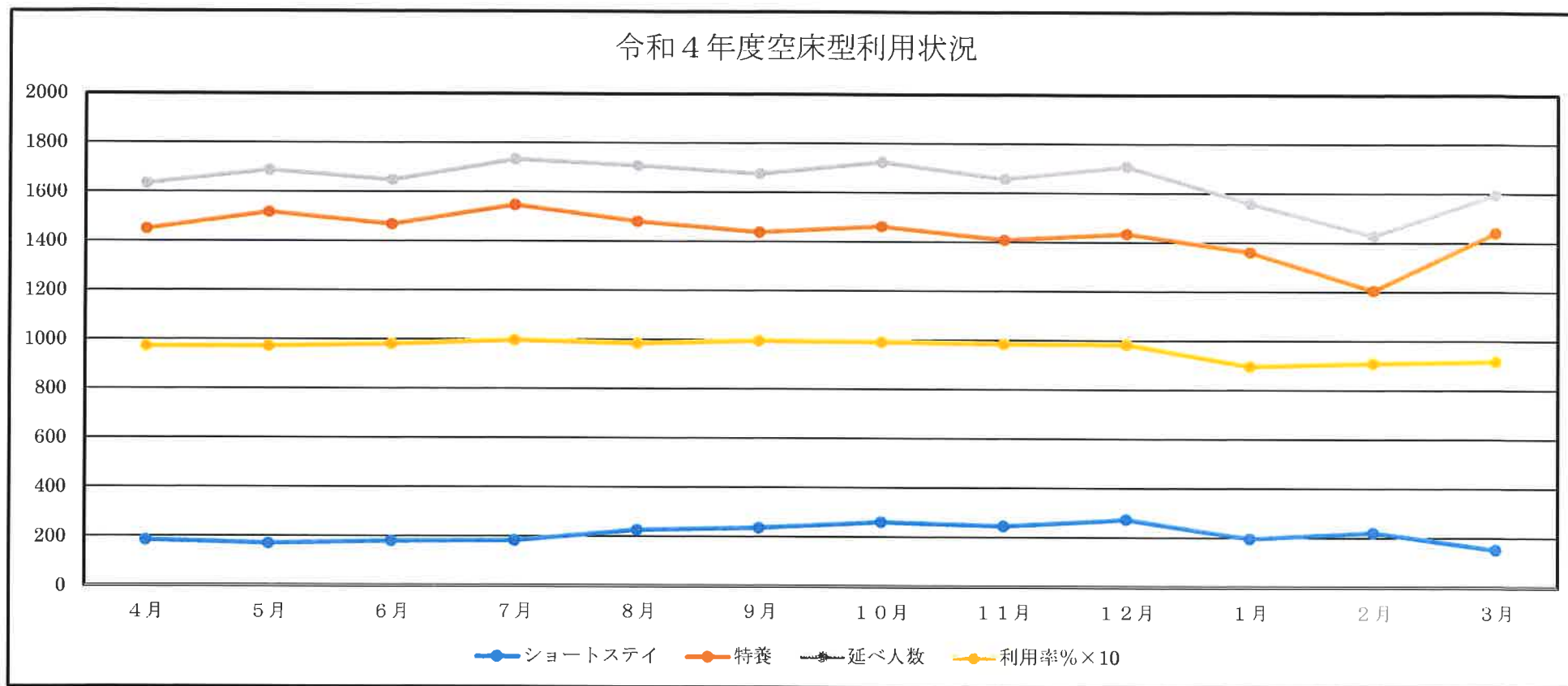
月	要介護度							計
	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	
4	0	0	1	2	3	1	0	7
5	0	0	1	3	2	1	1	8
6	0	0	0	3	2	2	1	8
7	0	0	0	2	1	2	1	6
8	0	0	0	2	2	3	2	9
9	0	0	0	2	1	3	2	8
10	0	0	0	2	3	2	2	9
11	0	0	0	2	5	1	1	9
12	0	0	1	2	4	2	1	10
1	0	0	1	2	4	2	1	10
2	0	0	0	4	3	2	1	10
3	0	0	1	3	1	2	1	8
計	0	0	5	29	31	23	14	102

3)短期入所生活介護月別利用延べ日数(要介護度別) (単位:人)

月	要介護度							計
	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	
4	0	0	5	60	90	30	0	185
5	0	0	13	63	62	31	2	171
6	0	0	0	37	60	53	30	180
7	0	0	0	60	31	62	31	184
8	0	0	0	62	40	83	42	227
9	0	0	0	60	30	87	60	237
10	0	0	0	62	75	62	62	261
11	0	0	0	60	127	30	30	247
12	0	0	23	62	155	31	3	274
1	0	0	29	64	68	31	5	197
2	0	0	0	87	80	28	28	223
3	0	0	12	47	2	62	31	154
計	0	0	82	724	820	590	324	2,540

3、令和4年度空床型特養の利用状況

(単位：人)



考察

黄線が利用率を表している。12月末から新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したため、2月の利用率は90%近くに低下した。

4、通所介護

1)通所介護利用状況(市町村別)

市町村	利用者数(人)		
	男	女	合計
榛原	9	21	30
室生	0	0	0
大字陀	0	1	1
御杖村	0	0	0
奈良市(針)	1	0	1
合 計	10	22	32

(単位:人)

2)通所介護月別利用者数(要介護度別)

月	要介護度								計
	経過的	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	
4	0	0	6	4	3	2	0	1	16
5	0	0	5	4	3	2	0	1	15
6	0	0	6	4	3	3	1	1	18
7	0	0	6	5	3	3	1	1	19
8	0	0	6	5	3	3	0	1	18
9	0	1	5	4	5	4	0	1	20
10	0	2	4	5	5	3	0	1	20
11	0	2	5	4	5	2	0	1	19
12	0	2	4	4	6	3	0	1	20
1	0	3	4	3	7	3	0	1	21
2	0	3	5	4	6	4	0	1	23
3	0	4	4	3	6	3	1	1	22
計	0	17	60	49	55	35	3	12	231

3)通所介護月別利用延べ日数(要介護度別)

月	要介護度								計
	経過的	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	
4	0	0	28	56	33	11	0	18	146
5	0	0	32	70	37	15	0	22	176
6	0	0	46	67	34	18	3	20	188
7	0	0	33	46	22	14	6	7	128
8	0	0	37	71	19	17	0	18	162
9	0	4	30	38	34	20	0	19	145
10	0	8	31	41	45	12	0	21	158
11	0	8	27	44	51	10	0	21	161
12	0	10	30	30	45	18	0	20	153
1	0	11	24	27	46	15	0	15	138
2	0	11	30	24	37	18	0	15	135
3	0	17	31	32	46	21	8	17	172
計	0	69	379	546	449	189	17	213	1,862

令和4年度事業報告書

4)通所介護日課表(標準的な場合)

8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00
迎 え	看護師 による 体調 チェック 荷物 整理	入 浴 非入浴の利用者は、介護計画に 基づく個別行動 (手芸等のミニレクリエーション、 コミュニケーション、及び水分補給)					食事前 の 体 操	食事の準備 食 事 喫 茶	休養時間 個別リハビリ、 コミュニケーション 等	レクリエーション 不参加の利用者は、 介護計画に基づく 個別行動 (手芸・絵画等のクラ ブ活動や、個別リハ ビリ)	おやつ	カラオケ等		送 り			

※ あくまでも標準的な場合であり、通所介護計画や本人の体調、希望により時間的に変化する。

5)年間行事

4月	チョコブラウニー作り 福もちいりフルーツポンチ作 り 兜飾りつけ 鍼灸マッサージ 喫茶店、誕生日会 お花見 じゃが芋植え オクラ種まき	7月	七夕飾付け・短冊作り 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会 オクラ収穫 コスモス、マリーゴールド種まき (オレンジプロジェクト)	10月	カレー作り いももち作り バーベキュー大会 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会 青空カフェ(おやつ)	1月	書初め・絵馬作り カルタ・福笑い・すごろく ホットケーキ作り みたらし団子作り 鏡開き 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会
5月	開園記念日 ホットケーキ作り 焼きスイートポテト作り 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会 スイカ植え	8月	そうめんパーティー 夏祭り 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会 スイカ・じゃが芋収穫	11月	餃子作り 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会	2月	鬼退治 ひな飾り チョコカップケーキ作り お好み焼き作り 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会
6月	七夕飾り作り クレープ作り 牛乳わらび餅作り 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会 えんどう豆収穫	9月	ネームプレート製作 敬老のお祝い 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会	12月	クリスマスツリー飾付け クリスマス会 お餅つき 門松 鍼灸マッサージ 喫茶店・誕生日会	3月	ひな祭り おはぎ作り ねぎ焼き作り 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会 じゃが芋植え

※ クラブ活動は、手芸、貼り絵、カラオケ、料理、園芸等。

機能訓練やレクリエーションは、平行棒による歩行訓練、輪投げ、ゴルフゲーム、ボールしりと、テーブルカーリング等。

5、居宅介護支援事業

現在1名の主任ケアマネージャーで居宅介護支援事業を行っている。施設が24時間、365日の営業体制であるため、時間外のオンコール対応や緊急事態に対する対応もあったが、以前に比べると比較的落ち着いてきている。

緊急時には、短期入所の利用で対応できるため事なきを得ているが、その事が単独の居宅介護事業所にはない強みであると認識し、今後の事業展開に生かせるものとする。種々のサービスにアプローチするケアマネージャーとして他の事業所との差別化を図るべく努力を重ねている。

ご利用者の入退院時にはご家族を交えて病院とのカンファレンスを行い、連携をとっている。

令和2年に入り、新型コロナウイルスが全国的に蔓延し、感染予防の対策に追われた。ご利用者の中には、来訪を嫌われる方もおられ、電話での対応とした。病院に入院中のご利用者にも会えない事もあるが、事業者間での連絡を密にして対応している。

月別利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
認定調査	0	0	2	3	0	0	7	4	2	0	6	8
要介護支援	14	16	19	18	18	18	17	16	15	16	14	14
予防介護支援	9	8	8	8	8	6	5	5	5	6	7	6
介護支援総計	23	24	27	26	26	24	22	21	20	22	21	20

内、入退院者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院	2	1	0	1	2	4	0	0	1	0	0	0
退院	1	2	0	0	1	2	3	0	2	0	0	0

6. 食の自立（配食サービス）について

おもに高齢者などを対象に、味付け、栄養バランスなどに配慮した調理済みの食事を自宅にお届けするサービスです。配達時には、高齢者の安否確認も兼ねており、手渡しでの受け取りを原則とし、顔の見える関係作りに取り組んでいる。

利用者数は令和4年度3月現在で4件。新規利用申請は少なく、デイサービスの利用や施設入所される方、入院される方が増えてきており利用者数は年々減少傾向にある。

最近では民間の弁当配達業者も増えており、毎日毎食分、希望の日時に配達してほしいという需要が多いように感じる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利 用 食 数	27	22	25	21	16	20	16	16	20	16	16	20	235

（単位：食）

7、生活支援ハウス

1) 利用状況

(単位:人)

	令和4年									令和5年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者数	4	4	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6
退園者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者総数	4	4	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6

2) 年間行事

お花見
七夕飾り
クリスマス会
餅つき

コロナワクチン接種
インフルエンザ予防接種
家庭菜園(オクラ、えんどう豆、じゃが芋、スイカ)
収穫物による調理レクリエーション(カレー作り、スイカ割り)

※ その他、通所介護部門でのクラブ活動や行事に参加。

3) 建物、設備の保守、修理

生活支援ハウスを新築してから約19年経過した。設備は随時保守点検、修理してきたが、部品の供給も難しくなっている設備も有る。ボイラーや業務用エアコンは出来るだけ修理する様にしているが、家庭用設備の部品がなく交換せざるを得ない状況となっている。平成30年度はファンヒーター2台と居室用エアコン5台を新型に取り替えた。令和3年度残りの居室用エアコン7台を新型に取り換えた。建物は毎年点検し大きな指摘事項は無いが、大規模な修理となる前に、屋根や外壁の塗装等やメンテナンスの時期を検討したい。

4) 委託料

平成14年に旧榛原町から委託を受け生活支援ハウスを開設した。当初榛原町からの委託料は893万円/年であったが平成18年から宇陀市に合併となり、平成20年からは747万円/年となった。令和4年度からは426万円/年となっている。年々委託料が下がって経営は苦しいが利用者に迷惑を掛けない様に工夫しながら運営したい。

V、令和4年度実施事業

1、深井戸の揚水ポンプ更新

深井戸 No2（進入路北側、深さ300m）の水中ポンプが絶縁不良となりポンプとケーブルを交換した。

総工費1,351,900円

令和4年11月26日 着工

令和4年12月3日 竣工

以下作業中の写真です。



VI、新型コロナウイルス感染症に関して

令和2年、新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めてから出来る限りの感染予防に取り組んできた。しかしながら、この時ほとんどの人がワクチンを3回打っていたが令和4年2月に初めて施設関係者に陽性者が発生した。2月15日、病院から退院直後にデイサービスを利用した人から職員が感染した。デイサービスを休業しPCR検査を全員にしたかったが検査キットが不足しており、10名分のみ手に入れて検査した。結果他の人は陰性であった。

以後、4月13日に1名の特養職員が感染した。ほとんどの特養利用者が濃厚接触をしており、奈良県の御協力を得て105名のPCR検査を行った。結果、利用者全員陰性であったが、10日間10部屋を隔離した。

次に7月15日、デイサービス利用者に陽性者発生、施設の抗原検査と奈良県によるPCR検査を30名実施した結果、デイサービス利用者4名（内、生活支援ハウス路用者2名）と職員2名が陽性となった。デイサービスは7月26日まで休業とし、生活支援ハウスの陽性者2名は部屋にて隔離を行った。

しばらく感染者が出なかったが、12月24日に特養職員が感染した。12月28日に特養利用者4名が発熱し、検査の結果陽性と判明。関係部署に連絡の後、奈良県に93名のPCR検査依頼。12月30日に17名の陽性者が判明。順次部屋を隔離し対応するも陽性者が増え続ける。令和5年1月4日に市役所や市立病院の担当者が来園、指導を受ける。完全防備の状態での介護をする為、職員の疲労度も強く、作業量軽減の為、食器を使い捨ての物とし、風呂は清拭とする。結果、利用者26名と職員1名の陽性者を出し、1月20日に終息した。職員一丸となって対応したが、今迄に無い大変さであった。他施設の苦勞を聞いていたが、実際に自施設でクラスターが発生すると身に染みて感じた。職員にも負担がかかるが、利用者も終息する迄隔離され、精神的にも肉体的にも負担がかかる。いずれの場合も初期対応が肝心である。引き続き、感染予防に取り組んでいきたい。

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症は2類から5類へと移行される。インフルエンザと同じ分類であるがウイルス自体はほとんど変わっていない。以前より症状が軽くなっているが感染力は強くなっている。世間ではマスクを外したりパーティションを取り払ったりしているが、体力低下している利用者の多い施設ではまだまだ用心する必要がある。今までの様にご家族の面会をガラス越しにする方式を継続する事は出来ないが、利用者のマスク着用、面会の人数や時間の制限等十分注意したうえで、利用者のご家族との面会を試行錯誤しながら取り組みたい。